

デジタルコンテンツ産業地域クラスター創生PJ～大規模広域連携体制の構築

配置機関名

広域(九州地区)

コーディネーター名

砂田 向壺

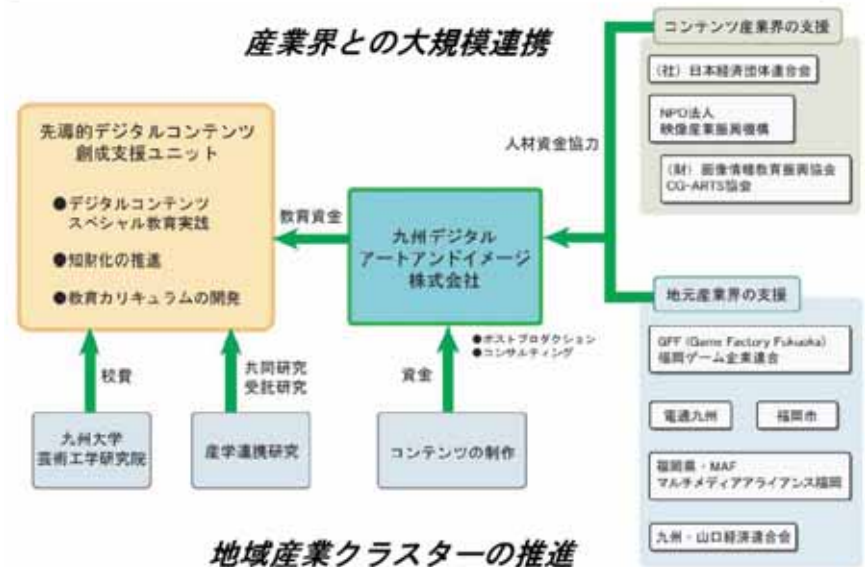
事例の概要

科学技術振興調整費の理解増進を促し、重要課題の我が国デジタルコンテンツ産業(11兆円規模/当時)の振興、教職員への産学官連携意識の醸成、平成17年度新興分野人材養成ユニットプロジェクトとして指導。

日本経団連、映像産業推進機構、九経連、並びに福岡県マルチメディアアライアンス、福岡市など、地元自治体を含め産学官の**大規模広域連携(右図参照)**を推進。国際競争力の向上を目指す拠点を形成する。

コーディネーターは、プロジェクト・ダイレクターとして、経済団体等へのジョイント要請、運営を主体的にリード、橋渡してきた。かつ、主体的にプロジェクト・を運営する産業界の視点で捉えた本概念の定着によって、教職員の覚醒を促す意識改革の進化形として、地方から全国に普及促進可能な広域連携モデルの創出ができた。

企業等との連携・協力などについて



具体的成果等

大学のストックを活性化し、地域と大学間の産業クラスター創生に不可欠な、**新興分野の雇用機会の増大**を担う高次な人材育成拠点や、我が国初の大学発エンタメ・系ベンチャー企業の創出が可能となり(上図左上部図)、日本経団連、九州・山口経済団体連合会等々との大規模連携の支援体制が成立した。

平成16年度 経済産業省コンテンツ産業課のコンテンツプロデューサー養成実践講座に指定と予算を獲得した。
平成17年度 文部科学省 科学技術振興調整費 新興分野人材養成ユニットに採択された。